

ボランティア

兵庫県芦屋市のNPO法人
フードバンク関西が、被災地
に食料や紙おむつなどの物資
を届けている。

結成されたのは03年。包装
にささいな傷がついたり、賞
味期限切れが近づいたパンや
米、缶詰などを企業から募り、
児童養護施設やホームレス支
援団体、障害者施設など経済
的に困った人が集まる施設に
提供している。昨年引き取っ
た食料は140トに上る。

被災地に食料、おむつ

NPO「フードバンク関西」

資金が続く限り支援



震災の翌日、ボランティア
スタッフが芦屋市内の事務所
に集まり「何かできないか」
と話し合った。これまで協力
してくれた企業に電話やメー
ルで連絡すると、すぐに物資
を提供してくれた。新品の商
品やお菓子箱に被災者へのメ
ッセージを添えたものもあっ
たという。藤田治理事長(62)
「写真」は「いつも以上に社
会貢献に積極的な企業があっ
て驚いた」という。

ホームページでも提供を募
り「米など常温保管できる食
品」「夏物Tシャツ」など必
要な物資を細かく指定。「季

節が変われば必要なものも変
わる。欲しいものを聞いて持
って行ったら、もう必要なく
なっていたこともあった」と
いう。

7回で計約30トの物資を福
島県のNPOや他地域のフー
ドバンク組織を通じて被災者
に送り届けた。半年を目安に
支援を見直す予定だが、東北
の行政担当者からはお金がな
い仮設住宅の入居者が支援物
資を必要としている現状が伝
わってくる。「阪神大震災よ
り問題が長期化している。資
金が続く限り支援を続けた
い」と話す。【原田啓之】